

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	05	01	02	154050	職業人材育成事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-6	雇用環境の充実			
	施策	1	職業人材の育成			
目的	雇用の拡大					
対象	求職者、新規学卒者、高齢者、失業者					
意図	就業できる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 関係機関等の連携体制の構築 市内高校生・大学生の地元企業への就業率・就業定着率向上を目的とした情報交換の場の設置 <input type="checkbox"/> 合同研修事業 就職後3年目までの就労者を対象とした研修会の開催 <input type="checkbox"/> COC+(グラス)事業 市内事業所説明会の開催 市内事業所見学会(バスツアー)の開催						
市民参画の有無 [無]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標(上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	合同研修事業の開催	回	計画		3	
			実績		1	
②	市内事業所説明会の開催	回	計画		1	
			実績		1	
③			計画			
			実績			
成果指標(上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	合同研修事業参加者数	人	目標		60	
			実績		25	
②	市内事業所説明会参加者数	人	目標		500	
			実績		321	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	<input type="radio"/> 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
合同研修については、起業化支援センターで実施したセミナー参加企業への周知を図ったほか、商工会議所等を通じホームページ掲載等を依頼したが、企業の人手不足のため研修を受講させる余力がなかった。市内事業所説明会参加者については、市内高校生及び大学生を対象としたが当初の目標設定が過大であった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	関係機関等の連携体制を構築し、就業率・定着率の早期向上を図るためには、市の積極的な関与が必要である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	新規事業のため、事業実施結果をふまえて成果の向上余地について検討する必要がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の経費としている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内在住又は市内事業所の就労者、市内事業所を希望する人、市内全事業所・高校・大学等を対象としていることから、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
本事業への参加者からの反応は概ね好評であり、より参加しやすい環境(開催時期、時間、場所など)を整備することで、さらなる参加者の増加が見込まれる。		

平成 28 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	05	01	02	154050	職業人材育成事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			484	684	484
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		484	684	484

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

雇用環境を充実させます。

事業開始の背景・経緯

若者の地元定着と地域労働力の減少が懸念されていることから、市内高校生・大学生の地元企業への就業率・就業定着率の向上を図るため、関係機関等との連携体制を構築し、就業促進・定着促進事業を実施する。

事業概要

- 関係機関等の連携体制の構築
市内高校生・大学生の地元企業への就業率・就業定着率向上を目的とした情報交換の場の設置
- 合同研修事業
就職後3年目までの就労者を対象とした研修会の開催
- COC+（プラス）事業
市内事業所説明会の開催
市内事業所見学会（バスツアー）の開催

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

市の有効求人倍率は、1.0倍以上で推移していることから、数字的には低い数値ではないものの、企業側が求める職種と求職者が希望する職種が一致しない、いわゆる雇用のミスマッチが生じていることが課題である。

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 薄衣 孝史 内線 388

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

市内高校生・大学生の地元企業への就業率・就業定着率の向上を図るため、関係機関等との連携体制構築、就業促進・定着促進事業を実施する。

- 1 関係機関等の連携体制の構築（ゼロ予算事業）
 - ・就業者の定着支援を目的とした、関係機関等の情報交換の場を設定
 - ・課題と解決策の検討のほか、下記2・3の内容の検討、及び実施後の検証を行う

2. 合同研修事業 44千円

対象：就職後3年目までの就業者

内容：マナー、経理、コミュニケーション能力向上等に関する研修

※ 受講者の費用負担なし

	1年目コース		2・3年目コース	
	月日	受講者数	月日	受講者数
ビジネスマナー	8月2日	4	8月3日	7
労務・税務			8月5日	4
コミュニケーション	8月8日	5	8月9日	5
計		9		16

3. COC+事業 440千円

※COC+（プラス）交付税措置 440千円×0.8=352千円

(1) 市内事業所説明会

内容：事業所毎のブースを設置し、高校生・大学生が自由にブースを訪問し、各事業所から説明（会社概要、製品、技術等）を受ける。

日時：平成29年2月21日（火） 13:30～16:30

会場：なはんプラザ

参加企業数：市内企業25社

参加者：市内高校2年生 321名

(2) 市内事業所見学会（バスツアー）

内容：貸切バスを利用し、市内企業を学生が訪問し、工場等を見学する。

期日：平成28年9月14日（水）

会場：花巻市内3社（JAいわて花巻、花巻温泉㈱、サンボット㈱）

参加者：岩手大学学生 7人、教職員3人

